

関係各位

公益社団法人リース事業協会

リース終了パソコンの寄贈について【東日本大震災復興支援活動】

公益社団法人リース事業協会は、復興庁の「被災者支援コーディネート事業」を通じて、被災 3 県で教育支援・地域振興・社会福祉の活動を行う下記の 14 法人に対し、リース終了パソコン計 46 台を寄贈*いたしました（平成 27 年 10 月～平成 28 年 3 月）。

寄贈したリース終了パソコンは、寄贈先の法人において被災者支援の各種活動のために利用されます。

今後も当協会では、リース業界の特色を活かし、会員会社から無償提供を受けたリース終了パソコンを整備して寄贈する社会貢献活動を続けてまいります。

※寄贈したリース終了パソコンには、日本マイクロソフト(株)様のご協力により、シチズンシップライセンスを利用した Windows 7 および Office2010 を搭載しております。

記

	寄贈先法人名	活動拠点	寄贈台数	寄贈年月
1	特定非営利活動法人青空保育たけの子	福島県福島市	2 台	平成 27 年 11 月
2	特定非営利活動法人ザ・ピープル	福島県いわき市	2 台	平成 27 年 11 月
3	一般社団法人ならはみらい	福島県楡葉町	5 台	平成 27 年 11 月
4	公益社団法人みらいサポート石巻	宮城県石巻市	7 台	平成 27 年 11 月
5	特定非営利活動法人市民公益活動パートナーズ	福島県福島市	5 台	平成 27 年 12 月
6	一般社団法人マザー・ウィング	宮城県仙台市	1 台	平成 28 年 2 月
7	特定非営利活動法人母と子の虹の架け橋	岩手県花巻市	1 台	平成 28 年 2 月
8	特定非営利活動法人キッズドア	宮城県仙台市	2 台	平成 28 年 2 月
9	特定非営利活動法人みやこラボ	岩手県宮古市	1 台	平成 28 年 3 月
10	特定非営利活動法人フードバンク岩手	岩手県盛岡市	3 台	平成 28 年 3 月
11	特定非営利活動法人かだっぺし	岩手県釜石市	3 台	平成 28 年 3 月
12	特定非営利活動法人立ち上がるぞ！宮古市田老	岩手県宮古市	1 台	平成 28 年 3 月
13	特定非営利活動法人まちづくり・ぐるっとおおつち	岩手県大槌町	3 台	平成 28 年 3 月
14	認定特定非営利活動法人 Switch	宮城県仙台市	10 台	平成 28 年 3 月

※寄贈先の概要は別紙をご参照ください。Switch への寄贈は 3 月 31 日に実施する予定です。

【当協会の社会貢献活動】

- ◆リース契約が終了した物件は、ユーザーからリース会社に返還いただいた後、リース会社においてリユース（再利用）・リサイクル（再資源化）が行われています。当協会の社会貢献活動では、リース業界の特色を活かし、会員リース会社からリース終了パソコンの無償提供を受け、これを整備して寄贈する活動を行っております。
- ◆東日本大震災の被災地の将来を担う次世代の教育活動等を支援するため、平成 23 年度から被災 3 県の公的教育機関に対し、リース終了パソコンを寄贈する活動を行ってまいりました。
- ◆平成 27 年度より、被災者の方々をできる限り幅広くご支援するために、被災地域で教育支援・地域振興・社会福祉に関する活動を行う非営利法人に対し、リース終了パソコンを寄贈する活動を行っております。
- ◆また、全国の特別支援学校へのリース終了パソコン寄贈活動および就労移行支援活動へ協力する活動を行うほか、平成 27 年台風 18 号の被災地において、ボランティアセンターの運営等を行う非営利団体に対し、リース終了パソコンを無償貸与・寄贈する活動を行いました。
- ◆当協会の社会貢献活動の詳細は、協会ホームページ（<http://www.leasing.or.jp>）をご参照ください。

【本件に関するお問い合わせ先：企画部 廣澤・加藤 TEL 03-3595-1501】

リース終了パソコン寄贈先の概要

【特定非営利活動法人青空保育たけの子:福島県福島市】

- ◆設立：平成 25 年 3 月 27 日
- ◆活動：子どもたちが自然の中で遊び五感を磨き成長していくことを見守り、大人も子どもと共に成長することを目的として設立される。自然の中で遊ぶ青空保育を実施する他、一般向けに農業体験教室・親子育児サークル・たけの子自然学校・冒険遊び等多岐にわたり子どもの自然活動を行っている。また、原発事故以降自然の中で安心して遊べなくなった福島の子どものために毎日米沢市に無料バスを運行しサテライト保育を実施している。

【特定非営利活動法人ザ・ピープル:福島県いわき市】

- ◆設立：平成 16 年 4 月 8 日
- ◆活動：古着のリサイクル活動・在宅障がい者支援・海外での教育支援を行う他、東日本大震災後は、原発事故に伴う風評被害等で疲弊した地域の農業の再生を目指し、いわき市・広野町において「ふくしまオーガニックコットンプロジェクト」として、綿花の有機栽培を多くのボランティアとともにしている。また、市の社会福祉協議会と連携して、いわき市小名浜地区復興支援ボランティアセンターを運営している。

【一般社団法人ならはみらい:福島県楡葉町】

- ◆設立：平成 26 年 6 月 30 日
- ◆活動：原子力事故等災害からの地域経済・産業立て直しのために町民・地元企業と行政が協働し、身近な組織となってまちづくりを主導する役割を果たしていくために設立される。法人の基本理念でもある「きずな・安心・活力」をもとに、町と協働しながら各種イベント・住宅再建に係る相談・ならは応援団事業を行っている他、仮設住宅の連絡員を雇用し、仮設に住む方の安否確認やニーズの聞きとりなどの業務も行っている。

【公益社団法人みらいサポート石巻:宮城県石巻市】

- ◆設立：平成 23 年 5 月 13 日
- ◆活動：石巻の地元住民と震災支援で石巻に来たボランティアにより設立される。震災で学んだ教訓を生かし、大切な命が守られ、地域を想う人々が生き生きと暮らせる石巻を目指して活動を続ける。震災の体験や災害対応記録を被災地ツアー・語り部プログラムで伝え、防災意識を深める活動を行う他、石巻市における健全な地域づくりの促進を行っている。「石巻津波伝承 AR」アプリを使った「防災まちあるき」が総務省「地方創生に資する地域情報化大賞」特別賞を受賞。

【特定非営利活動法人市民公益活動パートナーズ:福島県福島市】

- ◆設立：平成 23 年 2 月 10 日
- ◆活動：福島県と隣り合う市町村等を対象とする広域の中間支援 NPO として活動する他、東日本大震災以降は、主に県北地域北部の仮設・借り上げ住宅や復興公営住宅自治会のコミュニティ支援や住民(避難者)への生活再建及び心のケア支援活動を行っている。また、地域再生活動のサポートにも取り組んでいる。

【一般社団法人マザー・ウイング:宮城県仙台市】

- ◆設立：平成 20 年 9 月 27 日
- ◆活動：未来を担う子どもたちを健やかにはぐくむために、母親が自分らしく輝ける社会と地域をつくることを目的として設立された。地域子育て支援活動を行う他、震災後心のケアが必要となっている乳幼児親子の支援活動を実施。また、震災の影響で福島県から仙台市に転入してきた親子向けのサロンや外遊びの会等を実施している。

【特定非営利活動法人母と子の虹の架け橋:岩手県花巻市】

- ◆設立：平成 24 年 9 月 5 日
- ◆活動：被災妊産婦ケアに取り組んだ有志を核にして設立された。「母と子の笑顔を広げる」をコンセプトとして、地元の行政・NPO 等との協働により、母子の心身のケアと絆の再生、乳幼児を抱える女性の就労を支援するため技能習得、生活の安定と自立を支援する活動を行う。また、待機児童解消のための保育事業及び女性相談活動を実施している。

【特定非営利活動法人キッズドア:宮城県仙台市】

- ◆設立：平成 21 年 9 月 15 日
- ◆活動：東京を中心にひとり親家庭や生活保護家庭等経済的に恵まれない子どもたちに無料の教育支援を行う。震災後は仙台市に常在拠点を設置、子どもたちの学習支援活動を始める。「震災によって夢や希望を失う子どもを一人も出さない」という理念の下、宮城県南三陸町の小中学校にて放課後学習支援・放課後見守り事業を実施し、児童・生徒の安全確保と心のケア・志望校への進学サポートを行う。仙台市内でも、無料の受験対策講座やタダゼミや居場所機能を持った自習室を運営している。

【特定非営利活動法人 みやこラボ:岩手県宮古市】

- ◆設立：平成 26 年 2 月 12 日
- ◆活動：岩手県宮古地域等における地域再興において、地域の価値を繋ぎ組み合わせることによって、文化な創造・発展及び創造的な地域づくりを担う心豊かな人材を育むこと等により、持続可能な地域社会に寄与することを目的として活動を行う。復興住宅の住民等も気軽に来てもらえるコミュニティカフェを運営しており、今後は小さなパソコン講座などパソコンを活用した交流の場を広げていく。

【特定非営利活動法人フードバンク岩手:岩手県盛岡市】

- ◆設立：平成 27 年 1 月 16 日
- ◆活動：企業や生産者・市民から食料品の寄贈を受け、生活困窮者や児童・障がい者施設などに無償で提供する活動のために設立される。被災内陸避難者および沿岸被災者のうち生活に困窮する方々に食料支援を行っている。2015 年度は、市民や企業から寄贈を受けた約 10,148 kg の食料を生活困窮者自立相談機関や被災者困窮者支援団体など通じて、延べ約 1,100 世帯に約 9,100 kg（うち被災者は延べ約 400 世帯 3,145 kg）を提供した。

【特定非営利活動法人かだっぺし:岩手県釜石市】

- ◆設立：平成 25 年 4 月 3 日
- ◆活動：震災を契機に生活のしづらさを抱えている・居場所や生活目標が見つけれない・生活意欲が低下している人たちや、このような人たちと悩みながら関わっている人たち等に対して、地域住民・行政・民間団体等と手を取り合いながら支援的活動に取り組むために設立される。被災地釜石圏域において、ひきこもりがちな人達（高齢・障がい・若年者等）の行き場所・居場所・活動・交流の場として、開放場を提供している他、仮設団地内でのサロンを実施している。

【特定非営利活動法人立ち上がるぞ！宮古市田老:岩手県宮古市】

- ◆設立：平成 23 年 10 月 27 日
- ◆活動：莫大な被害を乗り越え住民が健やかに生活できること、多くの人々に足を運んでもらう魅力ある田老にするために設立される。地域振興（まちづくりの推進・地域安全・災害救援・経済活動の活性化・子どもの健全育成・保健、医療又は福祉の増進・農村漁村又は中山間地域の振興・情報化社会の発展）を行っている。また、現在では、「津波防災の町」宣言を世界に発信した町として、平成の大津波体験を検証してその教訓を伝え津波防災・減災に努める活動を行っている。

【特定非営利活動法人まちづくり・ぐるっとおおつち:岩手県大槌町】

- ◆設立：平成 13 年 7 月 3 日
- ◆活動：まちづくり推進のために設立される。震災後は、生活支援活動として行っている地元野菜の移動販売は、生産者と被災者を繋ぐ活動、新たなコミュニティーの形式活動として各種教室開催等人的交流の促進による復興支援活動を実施している他、3 月 31 日まで大槌町より FM 局の運営事業を受託、復興状況を伝えるために「大槌新聞」を発行している。また、新たな雇用促進のために様々な手工芸品の販売等を行っている。

【認定特定非営利活動法人 Switch:宮城県仙台市】

- ◆設立：平成 23 年 3 月 1 日
- ◆活動：未来ある若者が、将来に希望を持ち安心して生活していくことができるよう、「学ぶ・働く」という観点から多様性を認め合う社会へ向け様々な提言をしていき、社会へ発信していきたいという思いから設立される。こころに病を持つ方々の就学・就労支援を中心とした活動を行っている他、仮設住宅や復興住宅にこもりがちな無業者の方々に向けて「イシノマキ・ファーム&イシノマキ・マルシェ」プロジェクトを開催している。

※同法人の事業活動「イシノマキファーム&イシノマキマルシェ」は、平成 27 年度復興庁「心の復興」事業として一次採択されている。